

## 2学年通信

# Practice Makes Perfect

担当：富田

## ☆Hard work always pays off.

進級おめでとうございます！1学年で修得した単位は決して消えない勲章です。誇りを持って学校生活を送りましょう！これからも意識を高く持ち、自らの進路を自らの意思で切り開いて行きましょう！三河高校で学べる時間はわずか2年しかありません。自分に付加価値をつけて希望する進路を行きましょう！

以下は、今年度、皆さんのお世話に当たる2学年団の先生方からのメッセージです。

(敬称略)

富田幸一(学年主任)保健体育：「人生の表舞台は常に将来にあり」。明日という日は、今日準備をする人のものです。

大久保成憲(学年副主任)電気：各自がステップアップを目指し、充実した一年間になるように頑張ってください。

杉浦俊樹(G2A 担任)理科：凡事徹底。目標を定め、具体的に追求する1年としましょう。

中澤晶人(G2B 副担任)数学：各自がいろいろな面でレベルアップすることを期待します。頑張ってください。

阪口清健(G2B 担任)国語：「不苦無栄光」(苦勞せずして栄光なし) 苦勞して「一生の宝物」を手に入れてください。

原勝祐(G2C 担任)地歴公民：君たちの可能性は無限にある。今自分ができていることに精一杯取り組もう！

江村麻里子(G2B・C 副担任)英語：今の努力は将来の自分への投資です。目標達成に向けて、成長の1年にしよう。

堀洋嘉(G2D 担任)美術：「勝負の二年生」前向きに何事も頑張ってください。

吉村佳祐(G2D 副担任)地歴公民：今年から社会科を担当します吉村佳祐です。学校生活何事も一生懸命頑張っていきましょう。宜しくお願いします。

井上脩吾(E2A 担任)保健体育：失敗を恐れず、何事にもどンドン挑戦しよう！経験こそが成功への近道です。

木下史記(E2B 担任)電気：残りの高校生活で自分の武器となるものを1つでも多く身に付けて、次の進路の為の準備をしましょう。

奥村洋一(E2C 担任)家庭：「良いコト」も「悪いコト」もしっかり積み重ねて成長していこう。

伊藤大(C2A 担任)商業：希望進路の実現に向けて、準備をしていきましょう。頑張る人は応援します。

森健人(C2B 担任)国語：新年度になり、忙しい日々を過ごすことになると思いますが、目標を明確にし、充実した日々を過ごそう。

櫻井春生(C2B 副担任)商業：何事も、準備を大切に！

新海彩(C2C 担任)保健体育：不安も不満も口にしない。何事も丁寧に取り組むこと。JUST DO IT！

平俊一(C2D 担任)商業：「自分のことより ひとのこと」お互いに思いやりの心をもって

志田利之(学年付)電気：新しいクラスの仲間との切磋琢磨、近い将来の目標や夢の実現に向けての自己研鑽に励んでください。

外山恭平(学年付)電気：将来を見据えて今年頑張ったことが来年への礎になります。勇往邁進！



## ☆4月（卯月）の行事予定・月訓『高校生としての自覚』

1	土		16	日	
2	日		17	月	チャレンジ0週
3	月		18	火	
4	火		19	水	
5	水	出校日 入学式準備	20	木	執行部合同会
6	木	入学式	21	金	常任委員会 前期生徒会役員立候補締切
7	金	始業式 身だしなみ指導	22	土	受験対策講座①
8	土		23	日	
9	日		24	月	学年朝礼
10	月	短縮授業4限 課題試験 前期生徒会役員立候補受付	25	火	学習支援教室（寺子屋授業）開始
11	火	短縮授業4限 課題試験	26	水	
12	水	短縮授業4限	27	木	内科検診5・6限
13	木	短縮授業4限 身だしなみ再指導	28	金	内科検診5・6限
14	金	平常授業開始	29	土	昭和の日
15	土		30	日	

## ☆コラム『Practice Makes Perfect』

令和5年度の2学年は、382名でのスタートとなりました。今年も学年スローガンは、学年通信のテーマとともに昨年度と同じく、「Practice Makes Perfect」としました。「継続は力なり」や「習うより慣れよ」と訳されることもあるこのフレーズですが、「行動」することの必要性を説くものであると思います。

令和4年度入学生（今年度の2年生）には、オリエンテーションにおいて、「柔道部の綱登り」と「武藤杯の暗唱例文」を例に挙げ、地道な努力の積み重ねについて話しました。例に挙げたのは柔道部と普通科の取り組みについてですが、他の部活や、他の科でも基礎基本の確立とその継続は、あらゆる場面で言われていることだと思います。本年以降も自分の将来をより良いものにするために基本を疎かにせず、精進を重ねてほしいです。当然それは「行動」が伴うものです。

一方で「念仏平和主義」という言葉があります。誤解されてはいけけないので、敢えて書きますが、これは特定の「宗教」を揶揄したものではありません。あたかも念仏（仏道においては大変意味のあることです）のごとく「平和、平和」と唱えていれば平和になると信じる戦後日本の風潮を皮肉った言葉で、歴史作家司馬遼太郎が新聞のコラムの中で用いた造語です。当時は、非武装中立論を提唱する論者に対してこの言葉が使われていたようです。“Words without deeds are worthless”. - 「行動が伴わない言葉には価値がない」

行動自体を起こさないと何の成果にも繋がりません。自分の将来を夢想するだけでは何も起こらない。目標に向かって行動しない限り、成績は伸びないし、資格検定は受からないし、試合で勝利することはありません。

行動をしたからといって成功するわけではないですが、行動しなければ成功はないのだから、行動することは成功の前提条件であり、要件なのです。では、「行動」を「努力」に置き換えてみましょう。

努力できる人とできない人は、「能力」が異なるのではなく「考え方」が異なるのだという見解があります。能力の高低にかかわらず、努力を続ける人たちがいて、彼らが結果を出しています。

あるエッセイストが言っています。「努力とは、精神論でなく、方法論であり、才能でなく、環境に依存し、結果でなく、過程であり、単なる習慣であり、達成感ではなく、学習感である。また、『努力をする人』は、『努力をすることの価値』を信じていて、これは証明を必要としないため、一種の信仰ともいえる。」

私は努力することの価値を信じます。まずは行動しなければならないということをも自分自身で理解しましょう。

~~~~ Team Blue-2 Manager ~~~~